



50th CRC Seminar

黄川田 智洋 氏

独) 農研機構・畜産草地研究所
飼料作物育種工学研究チーム

黄川田 智洋氏は、本学農学研究科修士課程を平成10年に修了し、その後、草地研究所でいろいろなテーマに取り組み、精力的に研究を進めています。学生の皆さんにも分かりやすく話をさせていただきますので、是非参加して下さい。

トウモロコシ黒穂病抵抗性 QTL 探索と 複合病害抵抗性トウモロコシ親自殖系統の育成

時間：2011 年 3 月 11 日（金）15:00～16:10

場所：連大棟 2 階 会議室

トウモロコシ黒穂病菌 (*Ustilago maydis*) の感染により発生するトウモロコシ黒穂病は、古くから知られるトウモロコシの重要病害の1つで、雌穂に発生した場合、著しく子実収量に影響を与える。しかしながら、その感染様式は解明されていないうえ、発生についても年次間差が大きく、従来の育種法では十分な抵抗性品種を選抜する事は未だ出来ていない。本セミナーでは、これまでに取り組んできた QTL 解析と DNA マーカー選抜 (MAS) によるトウモロコシ黒穂病抵抗性親系統を育成についてと、ごま葉枯病圃場抵抗性 QTL を同時に導入した複合病害抵抗性親系統育成について紹介する。また、一般には馴染みの薄いであろう国内の飼料用トウモロコシ育種についての概論と、現在取り組んでいるその他の研究内容のトピックについても言及したい。

問合先：堤 賢一 (kentsu@iwate-u.ac.jp)